

●施策名

【施策11】生涯を通して学習し、その成果が生きる環境を整備します
(関連指標：指標46～指標52(P54～P55))

- i 県民の学習機会の充実と学習成果を生かした社会参加の促進
- ii 生涯学習施設等の連携とネットワークづくり
- iii 東日本大震災の記録の収集・保存
- iv 生涯学習推進拠点機能の強化

●代表的な取組の進捗状況

- i 県民の学習機会の充実と学習成果を生かした社会参加の促進
- iv 生涯学習推進拠点機能の強化

○ 「生涯学習による復興応援事業」

地域コミュニティ再生のための県民講座」を県内4カ所で開催し、延べ127名が参加した。

(H26実績)

- ・ 復興支援トーク「県外の取組から復興のヒントを探る」
- ・ ワークショップ「地域・人・生活をつなぐ」



ワークショップの様子

- ii 生涯学習施設等の連携とネットワークづくり

○ 「文化による心の復興支援プロジェクト」

美術館及び博物館において文化による心の復興を支援するため、県外の施設等と連携を図りながら観光交流等も視野に入れた企画展を開催した。

(H26実績)

【美術館】「ちひろ美術館コレクション展」「飛驒の円空展」

入場者数 45,288人

【博物館】「みちのくの観音さま展」

入場者数 7,951人



「飛驒の円空展」ポスター

- iii 東日本大震災の記録の収集・保存

○ 「東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業」

東日本大震災に関連する資料等を収集・保存し、広く県民に情報を提供するとともに、移動図書館車の巡回による資料の貸出を行った。

- ・ 震災及び原発事故関連資料収集件数 7,954件
- ・ 仮設住宅・仮設校他学校への移動図書館号巡回を18回実施し、3,697冊の資料貸出を行った。



移動図書館車巡回の様子

●問題点・改善等が必要な項目

① 生涯学習施設等の連携とネットワークづくり

- ・ 市町村や関係機関、地域団体等との連携をさらに進めていくこと。
- ・ 集客のための広報体制の確立。

② 東日本大震災の記録の収集・保存

- ・ 避難自治体の復旧・復興段階の格差が生じており、資料の貸出等にも差が見られる。

●取組の方向性

① 生涯学習施設等の連携とネットワークづくり

- ・ 県民が主体的に学習を進められるよう、学習機会の充実を図るとともに、学習した成果を生かして、地域の活性化に取り組める人材の育成を進める。
- ・ 関係機関との連携強化及び、SNS等による積極的な情報発信に努める。

② 東日本大震災の記録の収集・保存

- ・ 各避難自治体に応じた、図書を中心とした情報収集の充実と、きめ細かな対応による支援を継続する。
- ・ アーカイブ拠点施設整備に向けて関係市町村との連携を図りながら検討を行う。